

一般社団法人 奈良県作業療法士会
平成25年度第9回理事会議事録

- 1 開催日時 平成26年1月28日(火) 午後7時から午後9時
- 2 会 場 青丹学園 関西学研医療福祉学院 4階 4-2教室
- 3 理事現在数及び定数並びに出席理事数及びその氏名
理事現在数 12名 定足数 7名
出席理事数 11名
出席した理事の氏名 大松慶子・東條秀則・松本裕二・西井正樹・大西和弘・前岡伸吾・安井敦史
木納潤一・土井一輝・北別府慎介・毛利陽介

- 4 監事現在数及び出席監事氏名
監事現在数 2名
出席した監事の氏名 内川誠

- 5 議長の氏名
大松慶子

- 7 議 題

【検討事項】

- 1 細則について
- 2 第7回奈良学会予算について
- 3 第7回奈良学会の託児所運営について
- 4 高額物品の調達完了報告義務について
- 5 四半期決算について

【報告事項】

- 1 生活行為向上マネジメントについて
 - 2 法人化記念誌について
 - 3 協会・士会連絡調整会議について
 - 4 都道府県作業療法士会連絡協議会第三回役員会について
 - 5 災害支援対策事業について
 - 6 近畿作業療法士連絡協議会役員交流会報告について
 - 7 ホームページについて
 - 8 奈良県医師会「公開講座」について
 - 9 第55回全国研修会 進捗状況について
 - 10 平成26年度総会について
 - 12 会員数について
 - 13 ヤフーマーケティングリストについて
 - 14 事業部報告活動について
 - 15 第7回奈良学会準備の進捗状況と今後の予定
- 8 理事会の議事の経過の要領及びその結果

- (1) 定足数の確認など

冒頭で議長が定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣した。

- (2) 議案の審議状況及び議決結果など

検討事項1 細則について

松本副会長から前回提示した規程からの変更・修正事項について説明があった。

- ・正会員規定では誤字などの修正。
- ・賛助会員規程では会員期間を翌年5月末など期日を定めることを検討。
- ・旅費規程では県内移動での交通費について更に検討することとなった。
- ・選挙管理規程は内容を一部修正した。
- ・今後検討していく規程として「パートタイム規程」や「財務規程」が挙げられた。

検討事項2 第7回奈良学会予算について

金星理事からの議案であったが、欠席の西井事務局長から代理での説明があった。

奈良学会での講師である山口晴保先生からの依頼で当日の資料作成が必要となり、その費用5,000円を追加予算としたい。

検討の結果5,000円の追加予算とすることとなった。

検討事項3 第7回奈良学会の託児所運営について

金星理事からの議案であったが、欠席の西井事務局長から代理での説明があった。

笹井OTからの託児サービス実施案が提示された。

実施形態では外部委託の方がリスクが少ない、や経費を考慮すると利用者から500円程度は徴収することが妥当との意見が出された。

担当の笹井OTと今後も検討をしていくこととなった。

検討事項4 高額物品の調達完了報告義務について

毛利理事から高額物品の調達完了報告義務についての説明があった。

3万円以上の物品を購入した場合は、理事会での報告をすることとなった。

また、それらの物品は備品と扱い事務局でナンバーリングをして管理することとなった。

検討事項5 四半期決算について

毛利理事及び木納理事から教育部の四半期決算後の現金不足について説明があった。

10～12月の四半期決算にて教育部の1,102円の現金不足を確認したが現在も不明となっている。

次回理事会で文章での経緯など報告をして、審議後補填を行うこととなった。

報告事項1 生活行為向上マネジメントについて

北別府理事から生活行為向上マネジメントについての報告があった。

研究協力者として2事例を報告し外部審査を受けた。

今後、プロジェクトに参加するかは未定とのこと。

報告事項2 法人化記念誌について

大松会長から法人化記念誌についての報告があった。

2月10日を原稿の締め切りとした。

表紙のデザインを検討しているとのこと。

報告事項2 協会・士会連絡調整会議について 別紙有り。

東條副会長から協会・士会連絡調整会議について報告があった。

福祉用具対策委員会では29士会が協力している。

協会教育部では生涯教育受講登録システムについてICカードの導入を検討しているなど。

報告事項3 都道府県作業療法士会連絡協議会第三回役員会について 別紙有り。

東條副会長から都道府県作業療法士会連絡協議会第三回役員会についての報告があった。

協会と士会の関係性については、協会と士会との協定書の締結を検討していく。

早急に士会と連携して取り組む課題として、①生活行為向上マネジメントの普及・浸透

②認知症初期集中支援チームへの参画促進などがあるとのこと。

報告事項4 災害支援対策事業について

東條副会長から災害支援対策事業についての説明があった。

近畿ブロックでの会議を行い、阪神大震災での経験などを OT に伝え啓発していく。

3月1日に東京で研修会があり、参加するとのこと。

報告事項5 近畿作業療法士連絡協議会役員交流会報告について 別紙有り。

西井事務局長から近畿作業療法士連絡協議会役員交流会報告についての説明があった。

議題として①近畿連携事業についての報告

②福祉用具相談支援システムについて

③特別支援学校機能強化モデルについて

④都道府県作業療法士連絡協議会役員会報告

⑤第33回近畿作業療法学会 会計報告及び引き継ぎ

⑥WFOT 寄付金について

⑦第34回近畿作業療法学会について などがあつた。

報告事項6 ホームページについて

西井事務局長からホームページについて報告があつた。

新しいホームページをアップした。ブログシステムを導入し、随時更新が可能となつた。

旧ホームページは2月末で閉鎖する。

報告事項7 奈良県医師会「公開講座」について 別紙あり。

西井事務局長から奈良県医師会「公開講座」について書面での報告があつた。

平成26年2月22日(土)「これからの医療」「報道のウラバナ」

報告事項8 全国研修会 進捗状況について

西井事務局長から全国研修会 進捗状況について報告があつた。

テーマ：作業は人を健康にする ～その人の暮らしを支える技術～

市民公開講座講師候補 ・名越康文先生 ・三木善彦先生

士企企画講座講師候補 ・斉藤佑樹先生など

広告掲載については A4 サイズ 1 ページ4万円 A4 サイズ 1/2 ページ2万円

報告事項9 平成26年度総会について

西井事務局長から平成26年度総会について説明があつた。

日程：平成26年4月27日(日) 14:00 から

総会議案書の確認

4月上旬に議案書・委任状などの葉書・振込用紙を郵送予定

報告事項10 会員数について

毛利理事から正会員数 314名 賛助会員数 3社との報告があつた。

報告事項11 ヤフーマーケティングリストについて

大西理事からヤフーマーケティングリストについて説明があつた。

ヤフーグループメールサービスが、5月28日水曜日午後3時を以て終了となり、

4月16日水曜日午後3時より、閲覧以外の機能を停止することとなった。

その為、他のマーケティングリスト機能へ変換が必要となり、今後事務局と検討していく。

報告事項12 事業部活動報告・予定について

大西理事から事業部報告活動について書面での報告があつた。

無料セミナー H25.12.26 木納先生 精神疾患の病態を理解する 13名参加

H26.1.9 東條先生 訪問型作業療法 31名参加

H26.1.14 .21 大西先生 肩関節機能障害へのアプローチ 39名参加
難病患者訪問 平成25年12月26日 木曜日 メーリングリストにて報告の通り
今後の活動予定

無料セミナー H26.1.30 坪内先生 認知症に対する作業療法実践

H26.2.6 松本先生 精神障害者の退院支援

報告事項12 奈良学会準備の進捗状況と今後の予定

金星理事から書面での報告があった。

現在、抄録の査読期間中。査読委員から修正が必要という形で返ってきた演題も若干ある。

2月中旬が修正後の締切。その後、全データを調整し、印刷会社へ送信する予定。

仮印刷が3月中旬に完成する予定で、それを実行委員で最終チェックし、4月中旬には完成予定。

以上をもって議案の審議などを終了したので午後9時に議長は閉会を宣し、解散した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した理事及び監事は記名押印する。

平成26年1月 日

大松会長	東條副会長	松本副会長	西井理事	大西理事	前岡理事	木納理事	安井理事
土井理事	北別府理事	金星理事	毛利理事	内川監事	中上監事		